

河辺林通信

建部北町の森から

2020年7月号 No.267

↑たくさんの花を咲かせるネムノキ

第6回総会を開催しました

2020年6月13日(土)の活動日の後に、第6回総会を開催しました。

当初は総会も書面決議にするかどうか迷ったのですが、実際に集まってご意見を聞かせて頂いた方が良さだろうと考え、コロナウイルス対策をした上で例年通り開催しました。

今回の総会では、2019年度の活動報告および活動計算書の承認と2020年度の事業計画書および活動予算書について報告しました。どちらも、承認をいただくことができ一安心です。

ただ、今後コロナと共存しながら、どのように事業を展開していくかを事務局内でも練りながら、理事を始めとして、会員の方々のご協力をいただきたいと思います。会員の皆様、ご出席いただき、ありがとうございました。

湖東信用金庫様よりご寄付をいただきました

今年も湖東信用金庫様より、ご寄付を頂きました。毎年ご寄付と同時に、保全活動も行ってくださっていたのですが、今年はコロナウイルスの影響で残念ながら中止に。

毎年いただいた寄付でクリスマスコンサートを行っています。

今年は開催できるか未定ではありますが、多くの方に河辺いきものの森に来ていただくきっかけになるよう↑山本理事長と井田代表による贈呈式大事に使わせていただきます。



新事業「つながり隊」実施しました

2020年4月から開始予定だった新事業「つながり隊」。タイミング悪く新型コロナウイルスの感染拡大防止のあおりを受けて4月・5月分は中止にせざるを得ませんでした。

しかし、小学校も始まり、緊急事態宣言も解除されたので、コロナウイルス対策をした上で開催しました。

つながり隊はモリイコ！の卒業生や、遊林会の定例活動日に一定数参加した小学生が対象です。みんな森が大好きな子たちなので、初対面でも森の中で楽しそうにしています。

午前中は森たんけんをして、久しぶりの森を思いっきり楽しんでいました。

つながり隊はモリイコ！よりステップアップした事業で、子ども達の自主性を育むために、午後



↑竹で遊ぶ子ども達

からは自分自身で考えて行動する時間を設けています。

工作やたき火、秘密基地作りなど色々と思いが出て、協力して実行していました。

また、年上の子が年下の子の面倒を見ている場面がありました。

最後は、今日一日楽しませてもらった森の保全作業として、たくさんのセイタカアワダチソウを抜きました。

抜いたセイタカアワダチソウは一輪車3台分にもなりました！一日思いっきり楽しんでいたため、最後は疲れていました(笑)

つながり隊初回は大成功に終わりました。



↑たき火



↑抜いたセイタカアワダチソウ

●6月の作業だより

第2土曜日（6月13日）

午前中のみ作業でした。

①ササノコ退治班

ケヤキのはやしのササノコを退治しました。今の時期は蹴るだけで倒れるので子どもや女性でもできました。

②キャンプ用薪割り班

今年は中止になってしまいました。今年度のリーダー研修や来年度のキャンプ本番で使用する薪をたくさん割りました。

③水辺改造班

ポンプが壊れてからというもの、水辺の環境が悪くなってきたので、ドロをとったり、石を敷いたり、土で埋めたりと改造しました。

木ままクラブ（6月4日）

梵釈寺での活動でした。

久しぶりの作業だったので、まずは草刈りから始めました。機械と手刈りでたくさん刈ることができました。

木ままクラブ（6月18日）

作業小屋の前のテントの修復をしました。その後、キャンプ用の薪割りや、林内に置いてある枝の回収をしました。

第4水曜日（6月24日）

水辺のはやしの草刈りと、林内の枝拾いをしました。暑い中の作業でしたが、森の中がすっかりきれいになりました。

7月の活動日

7月の作業は新型コロナウイルスの拡大防止のため、午前中のみになります。

7/2 (木)	倒木処理
7/11 (土)	林内整備
7/16 (木)	梵釈寺
7/22 (水)	倒木処理 薪割り

新型コロナウイルスの状況によっては中止する場合もございます。中止の場合は、ホームページでお知らせします。

6月の観察会

6月の観察会は、久しぶりだったのと雨が降っていたので、森散策にしました。

久しぶりにゆっくりと森を回り、参加者の方たちはいろいろな発見をされていました。

私が見てほしかったのは、アメンボの赤ちゃんとムラサキシキブの花、シロキクラゲ。そして、タケの花です。アメンボの赤ちゃんはとても小さく「こんなに小さいのか！」というのを知ってもらうために紹介しました。ムラサキシキブの花を紹介する時に、「ヒントは源氏物語」と言ったら、即答で「ムラサキシキブ！」と小学4年生の子が答えてくれました。

竹の花は、なんと100年に1度しか花を咲かせないという超レアものです。ただし、花が咲いたら、タケが枯れてしまうので、タケを環境学習に使用している身としては手放しでは喜べません。

最後はセンターの近くに置いてある伐った木からシロキクラゲが出ているのを見て、久しぶりの観察会は終了となりました。



↑水辺の観察



↑シロキクラゲ発見

自然と親しむ動画配信中！

新型コロナウイルスの影響でネイチャーセンターの休館や校外活動の中止があり、来館者を迎える事が出来ませんでした。そのためHPやYouTubeへ活動範囲を広げ、たんけんシートや動画の配信を実施。モリイコ！が開始できなかった5月には「おうちでモリイコ！」を配信。動画を通して森のミッションが体験できます！

→
し
も
て
り
み
て
こ
ね
で
！
検
索



ボランティアメンバー募集！

遊林会は毎月ボランティアを募って、河辺いきものの森の保全活動をしています。あなたも森のスタッフと一緒に、汗を流しに来ませんか？

作業だけでなく、観察会や美味しいお昼ご飯が待っています！詳しくは遊林会事務局までお問い合わせください。

ボランティアだけでなく

新規会員さんも募集中です！



編集後記

新型コロナウイルスの影響で、遊林会の定例作業が開催できていませんでしたが、緊急事態宣言解除のおかげで、3ヶ月ぶりに短縮しての活動ではありましたが開催することができました。毎月森に来ることが出来る人は少ないですが、森の様子の移り変わりを、1人でも多くの人に見てもらえる機会が早く来てほしいと思っています。 望月

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp